いっぱいあそぼう♪

池袋幼稚園だより 2021 ⑥

令和３年５月20日発行
豊島区立池袋幼稚園 園長 小林 幾子
http://toshima.schoolweb.ne.jp/ikebukuro_k

頭と体をフル回転して遊ぶ!!

園長　小林 幾子

●キウイの白い花が満開です。ビワは青い実を膨らませ、ガクアジサイは例年より早く開花しました。夏野菜の植え付けも始まり、園庭は植物のパワーに満ちています。

●植物に負けず子どもたちもパワー全開で、元気いっぱいに園生活を楽しんでいます。りす組の子どもたちは、猫になったり看護師さんになったりしながら友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わっています。ぶどう組の子どもたちはダンゴムシに夢中です。園庭の畑でダンゴムシ探しをするだけでなく、ペーパー芯で作ったダンゴムシを段ボールの家で遊ばせたり、「ダンゴムシダンス」や「ダンゴムシ鬼ごっこ」を歓声を上げて楽しんだりしています。

●先日、ぶどう組は大明グラウンドで「親子ふれあい遊び」を行いました。「レンジでチン氷鬼」で思い切り走ったり、草花や池の生き物を観察しながら散策をしたり親子で楽しんでいただきました。子どもたちはお家の方と遊べたことがうれしかったようで「楽しかった！」と大喜びでした。保護者の方からは、「子どもたちがあんなに速いなんて思いませんでした」「こんなに頭を使って逃げ方を考えたり、チームワークが必要だったりするとは知りませんでした」等、子どもたちが頭と体をフル回転して遊んでいることに驚くご感想を多くいただきました。

●幼児期は、５歳頃までに大人の８割程度の神経機能が発達すると言われています。この時期は、スポーツなどで同じ動きを繰り返すより、多様な動きをすることで体内に様々な神経回路を複雑に張り巡らせていくことが大切です。それによって、力を加減したりタイミングよく動いたりするなどの運動調整能力が高まり、とっさの時に身を守る動きや将来のスポーツに結び付く動きが身に付いていきます。本園では、一人一人の子どもの興味や生活経験に応じた遊びの中で、体を動かす楽しさや心地よさを実感できるように体をつかって遊ぶ機会を多く設け、多様な動きを引き出すようにしています。ご家庭でも、体を動かして遊ぶ機会を増やしてみてください。

●風が心地よい季節です。27日から始まる「親子でウォーキング」では、お子さんとゆっくり通園路を歩き、初夏の風を感じてください。

今月の保育指導

りす組

■教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう
■身近な自然にふれ、興味や親しみをもつ

生活の流れがわかり、身の回りのことを自分でできるようになってきました。ねこハウスごっこや病院ごっこで友達と同じ動きをしたり、同じものを身に付けたりして遊ぶことを楽しんでいます。

６月は、好きな遊びにじっくりと取り組み、教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるように指導します。また、園庭の草花や栽培している夏野菜などの身近な自然に興味をもてるようにしていきます。

ぶどう組

■友達とイメージを実現させて遊ぶことを楽しむ
■自然や栽培物に興味をもち、生長や変化に気付く

ダンゴムシごっこやチョコレート屋さんごっこなどで友達に思いを伝えながら遊ぶ姿がみられます。

6月は、製作遊びや大型積み木などでイメージしたことを実現する楽しさを味わえるように指導します。また、梅雨の自然や自分たちで育てている夏野菜の生長に関心をもち、収穫に期待がもてるようにしていきます。